

福島経済マンスリー

4月の県内経済は、一部に弱い動きがみられるものの、全体では持ち直しの動きが続いている。

1. 2017年4月の県内経済

項目	コメント	景況判断	
		変化方向	水準
県内経済の景況	県内経済は、生産活動の弱さが続いているものの、全体では持ち直しの動きが続いている。		
消費動向	大型小売店販売額は、百貨店・スーパーともに前年を下回り、合計では5カ月連続で前年比マイナスとなった。一方、乗用車新車登録台数は6カ月連続で前年を上回った。		
公共投資	公共工事前払保証取扱は、件数が3カ月ぶり、請負金額と保証金額がともに2カ月連続で前年を下回った。復興需要により大幅に増加した公共投資は次第に減少しているものの、引き続き高水準で推移している。		
設備投資	民間・非居住用建築着工は、棟数が前年を下回ったものの、床面積と工事費予定額がともに2カ月連続で前年を上回った。		
住宅投資	新設住宅着工戸数は、今年に入り4カ月連続で前年を下回っているが、年間1万户を大きく超えるペースは引き続き維持している。内訳をみると、持家が2カ月ぶり、貸家が4カ月連続、分譲が2カ月連続で前年を下回った。		
生産活動	鉱工業生産指数は、前月比（季節調整値）が+4.1%、前年比（原指数）が△0.7%となった。業種別の前月比をみると、14業種で上昇し5業種で下降した。		
雇用動向	有効求人倍率は、季節調整値が前月比横ばい、原数値が前年同月比+0.02ポイントとなった。一方、雇用保険受給者実人員は前年同月比△2.8%となった。		

注：「変化方向」は前月と比較した現在における景況の変化方向（：改善、：不変、：悪化）、「水準」は現在における景況の水準をそれぞれ示す。「変化方向」は当月と前月における3カ月加重移動平均の前年同期比の比較、「水準」は当月の3カ月加重移動平均値と過去5年間の平均値の比較により、それぞれ判断している。ただし、「変化方向」が改善または悪化の場合でも、「水準」が変わらない場合もある。したがって、足元の動向を示す「コメント」と「景況判断」は異なる場合もある。なお、公共投資および設備投資は6カ月加重移動平均値による判断、鉱工業生産指数は3月データ。

〈天気図（水準）の意味〉				
晴れ	晴れ一部曇り	曇り	曇り一部雨	雨
良 い			悪 い	

2. 県内経済動向の概要

(1) 前年同月比

(単位：％、ポイント)

	項 目	前 年 同 月 比					
		2016年11月	12 月	2017年1月	2 月	3 月	4 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	0.4	△ 1.3	△ 0.9	△ 3.4	△ 1.3	△ 0.7
	乗用車新車登録台数	3.9	12.8	3.0	1.9	13.0	6.6
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 24.1	79.9	△ 4.9	80.6	△ 24.6	△ 25.0
設備投資	建設着工工事費予定額（民間・非居住用）	△ 52.5	△ 21.4	90.6	△ 35.2	151.5	25.8
住宅投資	新設住宅着工戸数	13.6	4.3	△ 15.3	△ 15.5	△ 19.4	△ 21.4
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	0.0	△ 4.3	△ 5.9	r △ 7.7	△ 0.7	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	0.00	△ 0.02	△ 0.01	0.05	0.06	0.02
	雇用保険受給者実人員	△ 2.0	△ 3.9	△ 0.5	△ 3.2	△ 1.4	△ 2.8

注1 鉱工業生産指数と有効求人倍率は原指数。Pは速報値、rは訂正值。

(2) 前月比

(単位：％、ポイント)

	項 目	前 月 比					
		2016年11月	12 月	2017年1月	2 月	3 月	4 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	△ 1.5	25.4	△ 16.8	△ 11.3	11.7	△ 4.5
	乗用車新車登録台数	9.6	△ 5.6	3.9	13.4	61.5	△ 51.1
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 33.1	87.8	△ 31.4	△ 26.0	40.2	△ 14.7
設備投資	建設着工工事費予定額（民間・非居住用）	△ 72.2	24.0	77.4	△ 59.3	65.3	85.7
住宅投資	新設住宅着工戸数	△ 19.6	11.7	△ 37.6	16.1	3.6	24.9
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	3.3	△ 2.6	1.3	r △ 0.5	4.1	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	0.03	△ 0.03	0.03	0.01	0.03	0.00
	雇用保険受給者実人員	△ 5.1	△ 3.7	2.0	△ 0.2	2.8	△ 5.8

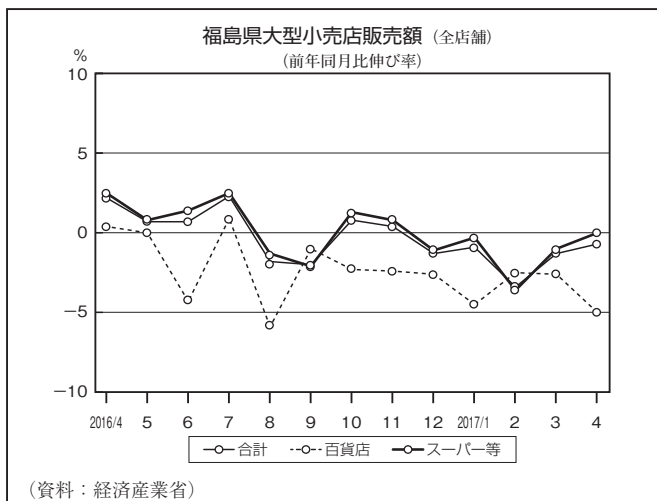
注2 鉱工業生産指数と有効求人倍率は季節調整値。Pは速報値、rは訂正值。

3. 県内経済動向

消費動向

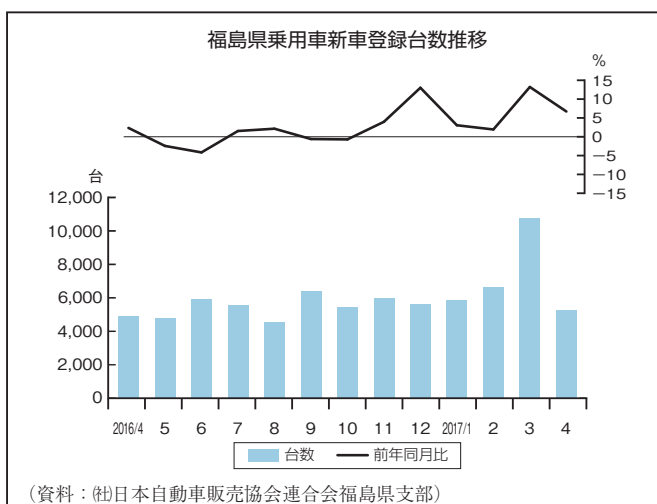
大型小売店：5カ月連続で前年比減

4月の県内大型小売店の販売額（全店舗ベース）は、合計で201億88百万円（前年同月比△0.7%）と5カ月連続で前年を下回った。業態別でみると、百貨店は、衣料品、飲食料品とも前年を下回ったことなどから、合計では同△5.0%となった。また、スーパーは、飲食料品が前年をやや上回ったものの、衣料品が前年割れしたことから、合計では同△0.0%とわずかに前年を下回った。



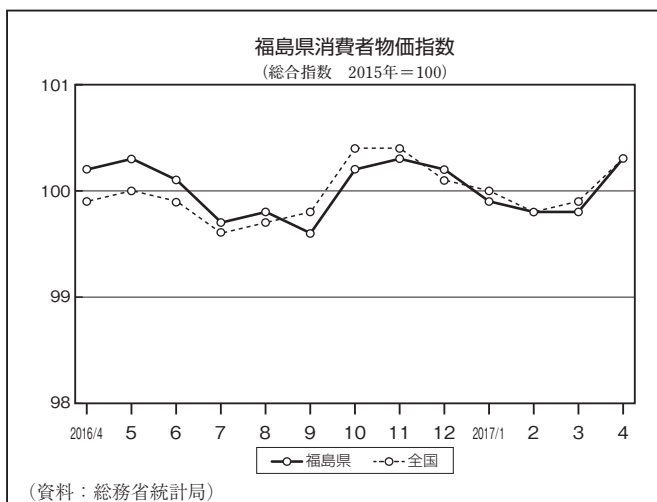
乗用車販売：6カ月連続で前年比増

4月の乗用車新車登録台数（ナンバーベース）は、合計で5,244台（前年同月比+6.6%）となり、6カ月連続で前年を上回った。車種別でみると、普通車が1,484台（同△9.1%）で3カ月ぶりに前年を下回ったものの、小型車が1,662台（同+7.0%）で6カ月連続、軽乗用車が2,098台（同+21.0%）と2カ月連続でそれぞれ前年を上回った。



消費者物価指数：前年比・前月比ともに上昇

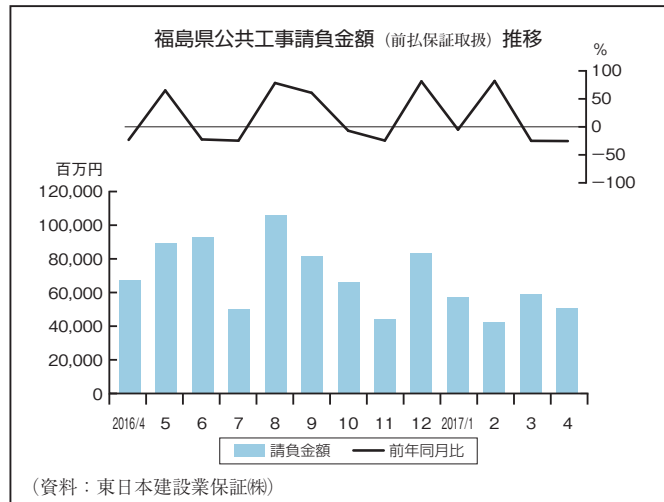
4月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、2015年=100）が100.3で前年同月比+0.1%、前月比+0.5%となった。費目別に前月比でみると、「被服及び履物」の103.9（同+4.2%）など8費目で上昇し、下降したのは「食料」の101.9（同△0.1%）のみとなった。



公共投資

公共工事：請負額は2カ月連続で前年比減

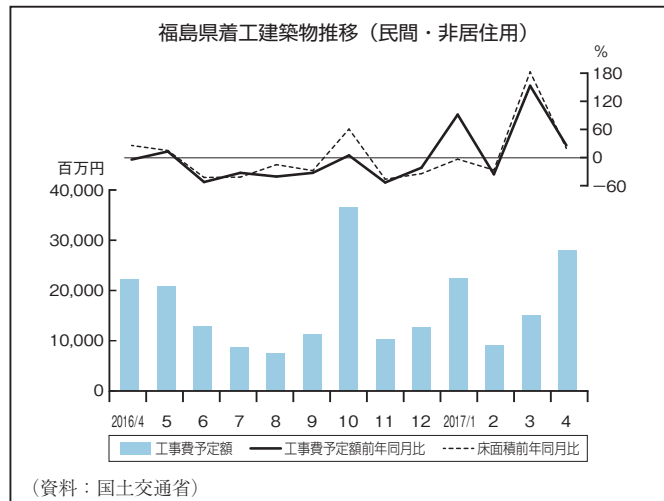
4月の公共工事前払保証取扱は、件数が441件（前年同月比△14.0%）と3カ月ぶり、請負金額が507億99百万円（同△25.0%）、保証金額が277億23百万円（同△7.7%）と2カ月連続でそれぞれ前年を下回った。



設備投資

設備投資：工事費予定額が2カ月連続で前年比増

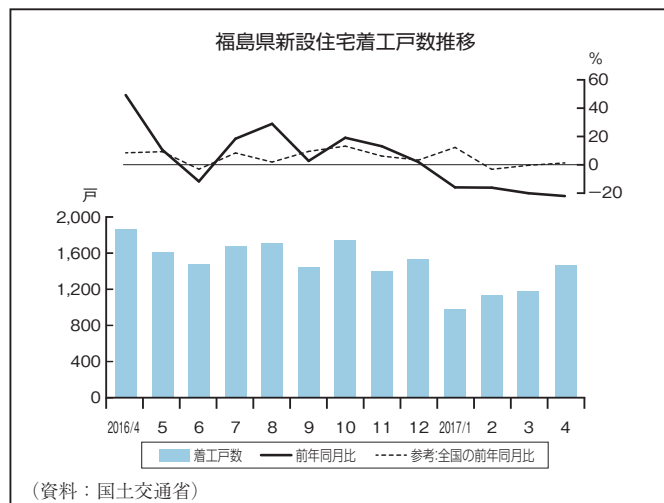
4月の建築着工（民間・非居住用）は、棟数が175棟（前年同月比△8.4%）で2カ月ぶりに前年を下回ったものの、床面積が107,139㎡（同+19.3%）、工事費予定額が279億13百万円（同+25.8%）でともに2カ月連続で前年を上回った。



住宅投資

住宅建設：4カ月連続で前年比減

4月の県内新設住宅着工戸数は、1,465戸（前年同月比△21.4%）と4カ月連続で前年を下回った。主な利用関係別にみると、「持家」は564戸（同△15.1%）で2カ月ぶり、「貸家」は703戸（同△29.0%）で4カ月連続、「分譲」は177戸（同△14.1%）で2カ月連続と、それぞれ前年を下回った。

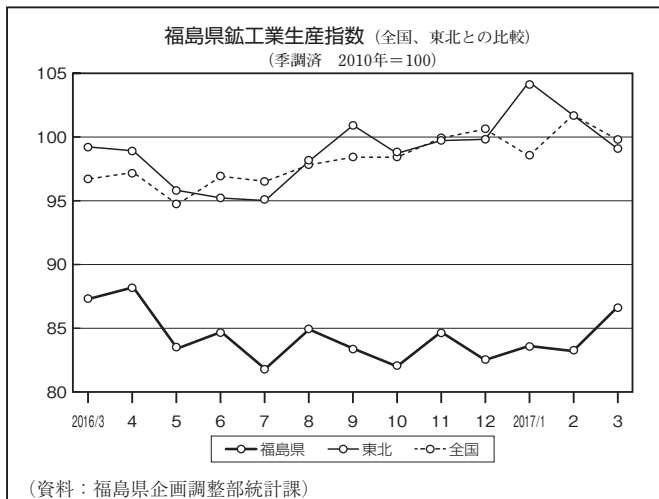


生産活動

※鉱工業生産指数は3月のデータ

鉱工業生産指数：前月比は上昇、前年比は下降

3月の鉱工業生産指数は、86.6（季節調整値）で前月比+4.1%と前月値を上回ったが、原指数が95.2で前年比△0.7%と前年値を下回った。業種別の季節調整値をみると、「木材・木製品工業」（前月比+47.4%）など14業種で上昇し、「電気機械工業」（同△11.4%）など5業種で下降した。

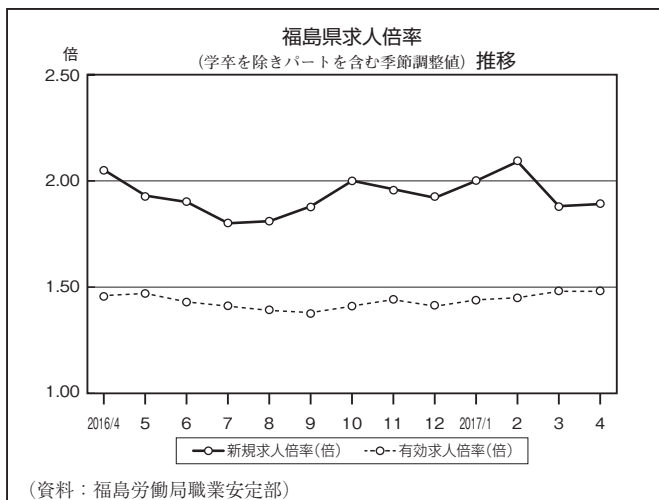


(資料：福島県企画調整部統計課)

雇用動向

雇用動向：有効求人倍率は前月比横ばい

4月の新規求人倍率は、季節調整値が1.89倍（前月比+0.01ポイント）、原数値が1.50倍（前年同月比△0.10ポイント）となった。また、4月の有効求人倍率は、季節調整値が1.48倍（前月比±0ポイント）、原数値が1.33倍（前年同月比+0.02ポイント）となった。一方、4月の雇用保険受給者実人員は5,540人（前年同月比△2.8%）で前年を下回った。

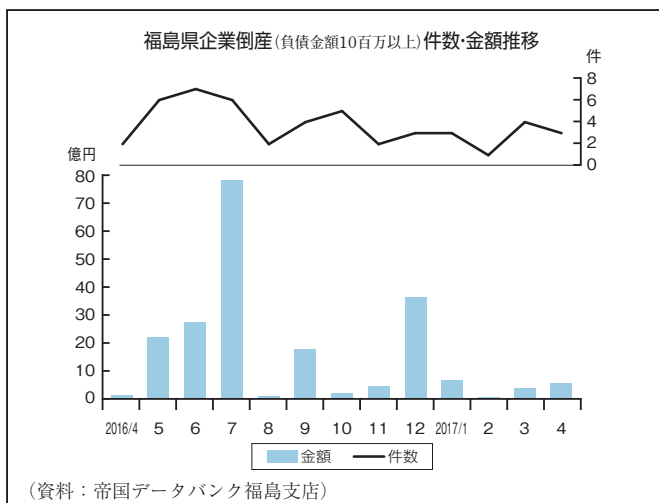


(資料：福島労働局職業安定部)

企業倒産

企業倒産：件数・金額ともに前年比増

4月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、件数が3件（前年同月比+50.0%）、負債総額が5億36百万円（同+387.3%）と、ともに前年を上回った。業種別では、建設関連、製造業、サービス業でそれぞれ1件ずつとなった。

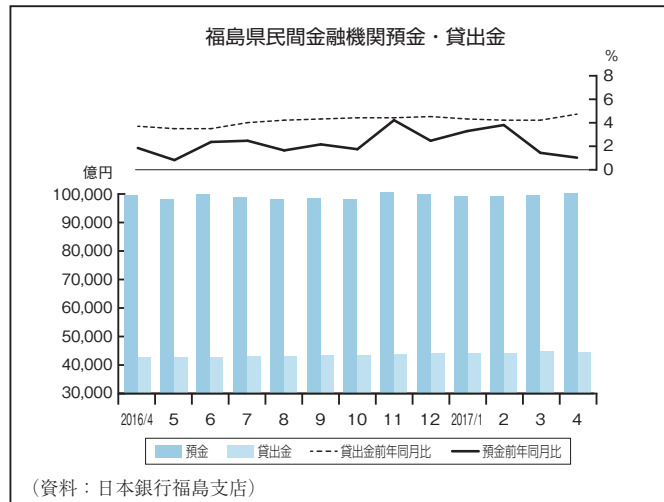


(資料：帝国データバンク福島支店)

金融動向

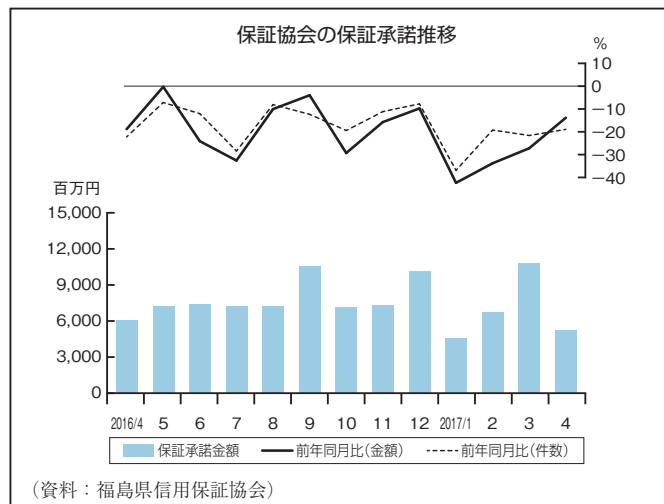
資金需給：預金、貸出金とも前年比で増加

県内金融機関（全国銀行、信用金庫、信用組合の県内店舗分）の4月末の預金残高は、10兆814億円（前年同月比+1.0%）と10年2カ月連続、貸出金残高は、4兆4,580億円（同+4.6%）と3年11カ月連続で前年を上回った。



保証協会：保証承諾は件数、金額とも前年比減

4月の保証承諾は、件数が448件（前年同月比△19.0%）、保証金額が51億99百万円（同△13.9%）となった。また、4月末日現在の保証債務残高は、件数36,668件（同△10.7%）、金額3,148億52百万円（同△12.2%）となった。一方、4月中の代位弁済は、件数が13件（同±0%）、金額が1億54百万円（同+422.5%）となった。



4. 業種別動向

消費動向

※企業ヒアリング等による結果

家電量販店 4月の家電量販店の売上高は、洗濯機や冷蔵庫などの白物家電が前年をやや上回り、パソコンもノート型を中心に好調を維持するなど、合計では前年を5%ほど上回った。

ホームセンター 4月のホームセンターの売上高は、作業用品や日用品などで前年を上回ったものの、園芸などで前年を下回ったことから、合計では前年をわずかに下回った。

旅行 4月の旅行取扱額は、国内が個人・団体と

もに前年を下回り、合計では前年比で50%ほど減少した。また、海外は政情・治安要素などから敬遠される傾向がみられるなど、合計では前年比で60%ほど減少しており、国内外合計では前年を50%ほど下回る水準となった。

高速道路 4月の県内自動車道出入口数は、合計で5,219,035台（前年同月比△4.1%）と、3カ月連続で前年を下回った。路線別にみると、磐越自動車道（いわき三和IC～郡山東IC）は428,797台（同+1.5%）と2カ月連続で前年を上回った。一方、磐越自動車道（磐梯熱海IC～西会津IC）は564,685台（同△0.4%）と2カ月ぶり、東北自動車道（白河IC～国見IC）は2,560,589台（同△1.9

%)、常磐自動車道（いわき勿来IC～新地IC）は1,664,964台（同△9.8%）といずれも3カ月連続で前年を下回った。

福島空港 4月の福島空港国内定期路線の利用状況は、17,624人（前年同月比△6.7%）と6カ月連続で前年を下回った。路線別にみると、札幌便は3,577人（同△15.1%）、大阪便は14,047人（同△4.3%）となった。

（国際定期路線は全便運休）

生産活動

※企業ヒアリング等による結果

化学 4月の高機能樹脂は、自動車の部品用素材向けや家庭用製品の受注が堅調で、前年をやや上回る生産を維持している。

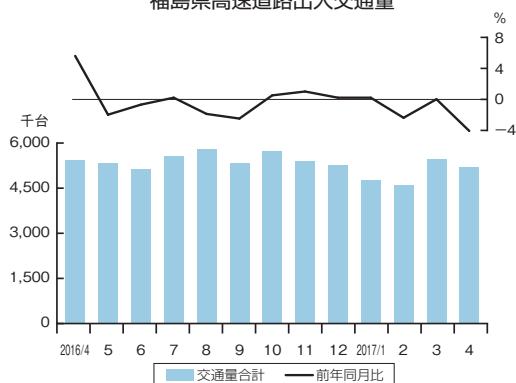
鉄鋼・金属 4月の伸銅品の生産は、半導体向け電子材及び自動車向け端子材の受注が堅調で、ともに前年を5%ほど上回った。4月の建機用鋳造品は、好調に推移する受注にやや落ち着きがみられ、合計で前年を5%ほど下回る生産となった。4月の鋳鋼品の生産は、船用部品、陸船用バルブがともに前年を下回り、合計でも前年を10%ほど下回った。

輸送用機械 4月の自動車用鋳造品は、トラック用の受注が堅調に推移していることから、合計で前年を20%程度上回る生産となった。また、オイルシールは、国内外の自動車向けの受注増などから、生産水準は前年を上回る状況が続いている。

電気機械 4月の電気機械の生産は、モータや変圧器などが前年を下回ったものの、配電盤が前年を大きく上回ったことから、合計では前年を20%ほど上回った。

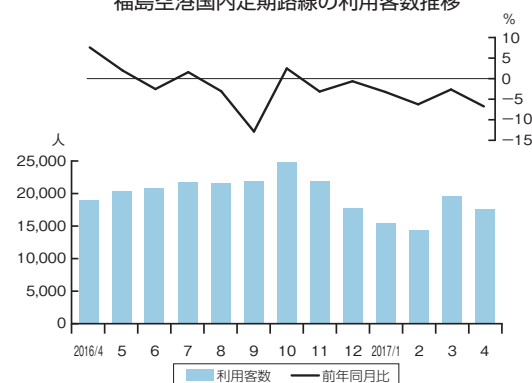
電子部品・デバイス 4月のLSI（大規模集積回路）の生産は、需要回復が続いたことにより前年を40%程度上回る水準となった。但し、見通しについては回復傾向に一服感が見られるなど、今後の需要見通しは決して楽観ではないと捉えている。

福島県高速道路出入交通量



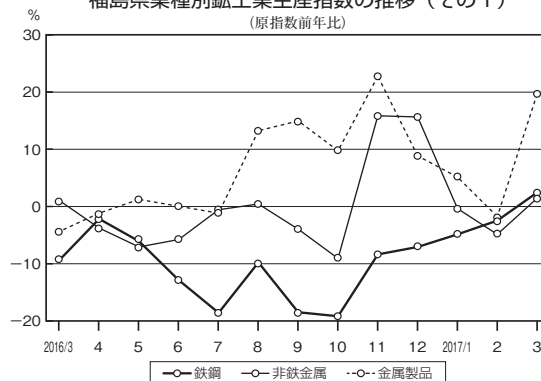
(資料：東日本高速道路(株)東北支社)

福島空港国内定期路線の利用客数推移



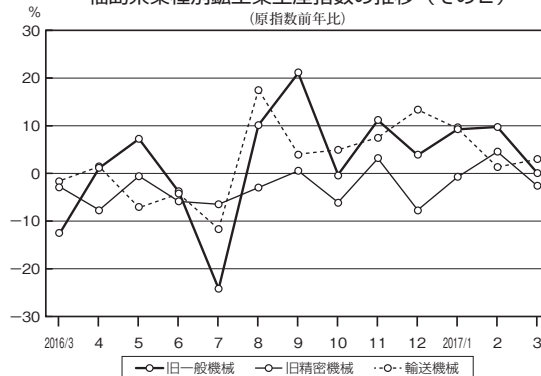
(資料：福島県商工労働部空港交流課)

福島県業種別鋳工業生産指数の推移 (その1)



(資料：福島県企画調整部統計課)

福島県業種別鋳工業生産指数の推移 (その2)



(資料：福島県企画調整部統計課)

精密機械 4月の医療用内視鏡は、国内外とも受注量が増加し、合計では前年を40%ほど上回る生産となった。また、デジタル一眼レフカメラ用レンズは、国内外の受注量が好調に推移し、全体では前年を上回る生産水準となっている。

窯業・土石 4月の生コンクリート出荷量は、全体で141,628m³（前年同月比△9.9%）と14カ月連続で前年を下回った。地区別、民需・官公需別にみると、民需では大規模施設建設が進むいわき地区及び県北地区が前年を上回ったものの、全体では同△11.5%となった。また、官公需では学校や体育館新設に伴い県北・県中・会津地区で前年を上回ったものの、全体では同△10.3%となった。

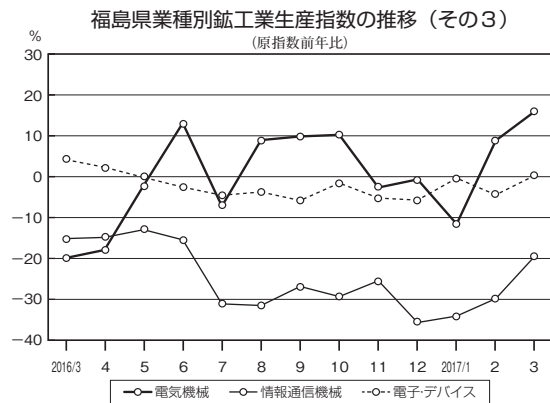
紙・紙加工品 4月の製紙の生産は、一部海外向け輸出で前年を上回ったものの、ノーカーボン紙・感熱紙ともに前年を下回ったことなどから、合計では前年を10%ほど下回った。

清酒 4月の清酒移出数量は、1,153kL（前年同月比△7.4%）と5カ月連続で前年を下回った。酒類別では、一般酒（特定名称酒以外の酒）が545kL（同△10.9%）と8カ月連続、特定名称酒（吟醸酒・純米酒・本醸造酒）が607kL（同△4.1%）と5カ月連続でそれぞれ前年を下回った。先の全国新酒鑑評会において、本県は金賞数が5年連続1位に輝き、酒造技術の質の高さを示した。日本酒離れに歯止めをかけるべく、市販酒の販売に結び付ける取り組みに期待がかかる。

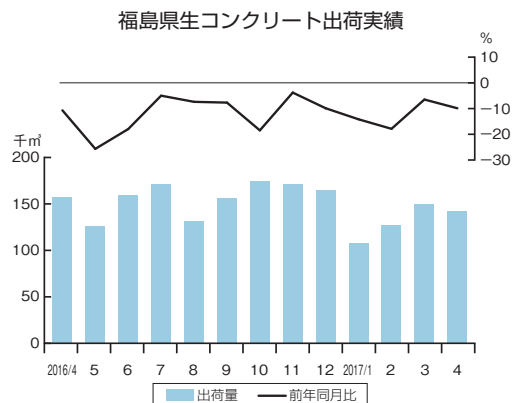
化合繊維物 4月の化合繊維物は、単価がやや低下している影響などから、生産額では前年を5%ほど下回った。

ニット 4月のニットは、春夏物製品の受注量が減少傾向で推移し、生産額では前年を30%ほど下回った。

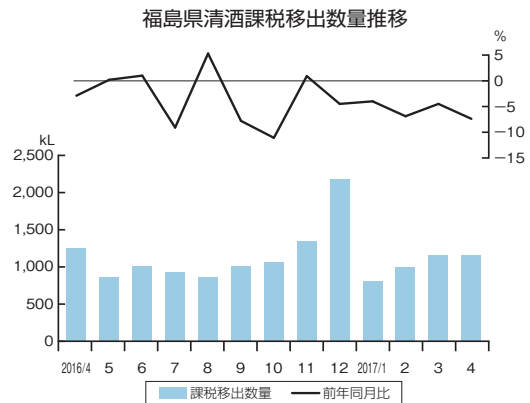
電灯電力 4月の電灯電力販売量は、1,165百万kWh（前年同月比+0.9%）となり、4カ月ぶりに前年を上回った。



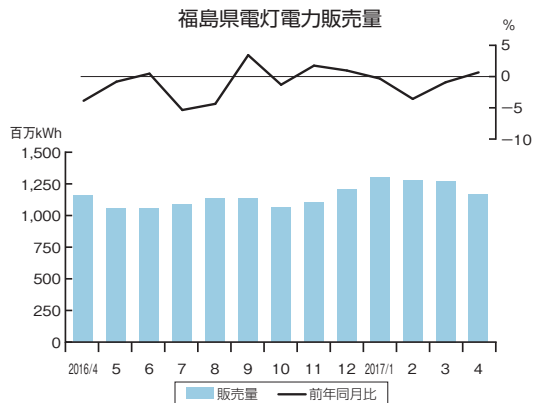
(資料：福島県企画調整部統計課)



(資料：福島県生コンクリート工業組合)



(資料：福島県酒造組合)



(資料：東北電力福島支店)